

第一分科会

～NPO、行政等からの取り組み事例発表～



①本業である設計事務所の仕事



- ・原木選びからはじまる家づくり
- ・顔の見える木で家づくり(大分県)
- ・久山の家プロジェクト(福岡)

②環境活動の原点になった商店街コンサル



③環境活動グループ【+eco プラス・エコ】



- ・林道ボランティア
- ・山視察
- ・研究会・勉強会
- ・家づくり
- ・こども向け商品開発
- ・自転車クラブ
- ・自然素材の相談・講師

④NPOなど

- ・NPO法人 地域環境ネットワーク 代表理事
- ・NPO法人 九州森林ネットワーク 理事
- ・APUグローバルビジネスネットワーク 理事
- ・協同組合 地域づくり九州 理事
- ・大分県地球温暖化防止活動推進センター長
- ・日本の環境首都コンテスト(環境市民)構成団体
- ・省エネルギー普及指導員



1999年4月から本格的に施行されている「地球温暖化対策の推進に関する法律」

この法律は国、地方公共団体、事業者、国民が地球温暖化の解決のために果たすべき役割を定めているものです。また、その中で都道府県にそれぞれひとつ「都道府県地球温暖化防止活動推進センター」を指定し、民間団体の活動支援、啓発・広報、照会・相談、日常生活にともなう温室効果ガスの排出実態の調査・研究、情報提供等を進めることとされています。

啓発・広報活動	活動支援	照会・相談活動	調査・研究活動	情報提供活動
地球温暖化の現状および地球温暖化対策の重要性について、多くの人に伝えます。	地球温暖化防止活動推進員、および民間の団体の地球温暖化防止対策活動を支援します。	日常生活に関する対策について照会や相談に応じ、必要に応じて助言します。	日常生活に関する温室効果ガスの排出の実態について、調査研究を行います。	多くの人の活動を促進するため、調査研究の結果や収集した情報を提供します。

「NPO法人地域環境ネットワーク」は、地域の知恵と市民・民間による自発的な環境保全活動を促進し、環境学習の機会の提供や情報配信などさまざまな活動支援を行う団体であり、その活動が都道府県地球温暖化防止活動推進センターの役割と一致するものとして、「ななぐらす」の後任として、2006年3月24日に大分県における同センターに指定されました。

現在、全国に45の県センターがあります。

1.ひとづくり

2.見える社会像

3.セクターどうしの対話

4.共生（環境と経済）

5.有機的つながり

6.戦略づくり

7.わかりやすい取組み

温暖化対策コンテスト

大分県地球温暖化防止活動推進センター
NPO法人地域環境ネットワーク

ストップ温暖化大作戦 - Microsoft Internet Explorer

アドレス(D) http://www.jccca.org/daisakusen/ Google 検索 ブックマーク ブロック数: 0 ABC チェック 次に送信 リンク 設定

STOP ONDAKA DAISAKUSEN

ストップ温暖化 大作戦

CO₂削減「一村一品」プロジェクト

新着情報

- 2007.8.01 / 平成19年度温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業(東京)の実施団体の募集について。
- 2007.6.29 / 環境省プレスリリースしました。
- 2007.6.25 / ストップ大作戦サイトアップしました。
- 2007.6.25 / 全国で公募が始まっています。

+ home + ストップ温暖化大作戦とは? + メッセージ

MISSION

地域の隠れた取り組みを発掘せよ!!!

今、ちまたでは、地球があつくなっていると言われている。
これを止めるためには、地域での活動が不可欠だというのだ。
さあ、君たちのまわりで地球温暖化防止につながる取り組みは何か、探してみてもらえないだろうか?
ピンとひらめいたら、すぐに連絡がほしい。詳しくはこのサイトを見ててくれたまえ。



各地域で公募中!!

- 北海道
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県

- 静岡県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 長野県
- 岐阜県

- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県

北海道・東北 中・四国

インターネット



■ 審査基準

「審査方法②」の審査基準は、下記の通りとします。（実施部門、提案部門共通）

【採点について】

- ①3つの大項目（地域性、将来性、CO₂削減効果）ごとに小項目を設け採点します。
- ②「バランス性による加算」として、「審査員による加算」以前の得点が3つの大項目全てにおいて15点以上の場合は10点、10点以上14点以下の場合には5点加点します。
- ③各審査員は、特に評価が高いと思われる小項目の1つ又は数項目に、総計10点を限度として加点することができます。

採点項目	配点
1. 地域性	
1-1. 地域特性	0~10点
1-2. 地域連携	0~10点
2. 将来性	
2-1. 繼続性	0~5点
2-2. 発展性	0~5点
2-3. 新規性・独自性	0~10点
3. CO ₂ 削減効果	
3-1. 定量化	0~10点
3-2. 計画性	0~5点
3-3. 経済性	0~5点
4. バランス性による加算	0、5、10点
5. 審査員による加算	0~10点

おおいた温暖化対策コンテスト 応募者名簿

おおいた温暖化対策コンテスト 応募者名簿				
	応募者名(団体・グループ名)	代表・個人名	担当者	取組・提案 事業名
A 01	NPO法人 九州・自然エネルギー推進ネットワーク	小坂正則	小坂正則	太陽光発電によるクリーンな電気の産直「県民共同発電所」運動
A 02	杵屋磨村、岸久見市立			千尋っ子に絵本読み聞かせ会、コラボ企画等
A 03	日田市 市民環境部			日田市学校版環境認定制度
A 04	日田市 市民環境部			バイオマス資源化センターの建設本格化
A 05	三重川を守る会	代表・高木和生	羽田野孝	三重川キャンドルナイト
A 06	㈱大分銀行	頭取・小倉義人	秋吉 英矢	金融サービスによる環境配慮型企業への支援事業
A 07	地球温暖化防止岸久見協議会	会長・大野直	大野直	緑化推進事業、啓発事業
A 08	中津のくらしと環境をめぐらす会	代表・直山隆章	横光陽子	生ごみ堆肥化(段ボールコンポスト)は行政機能マヒした時強い味方となる
A 09	NBA(中津環境保全)グループ	代表・柏木トミ子	木本悦子、横光陽子	ポスター・めり絵を通してマイバッグと動物保護
A 10	生活協同組合 コープおおいた	理事長・瓜生田はるみ	児玉圭一	地球健康車検
A 11	野上和彦			地球にやさしい住宅
A 12	㈱コンベンションリンク	代表・大野正行		優しい環境つくり

応募総数 17件			
	内 実施部門	提案部門	12件
B 01	NPO法人 九州・自然エネルギー推進ネットワーク		森林バイオマスのエネルギー利用で森林資源の削減を
B 02	地球環境保全おおいた		ひとこかけ ふたこかけ やすらぎ
B 03	筑珠町立八幡小学校	教頭	環境はじめの一歩(自分たちにできること)
B 04	地球温暖化防止岸久見協議会	会長・大野直	グリーンカーテン普及活動
B 05	大分市 犀川管理課	課長・工藤恭介	ごみ減量預金事業

提案部門 5件			

実施部門

大分県知事賞

日田市

バイオマス資源化センターの建設と本格稼動

大分合同新聞社賞

NPO法人九州・自然エネルギー推進ネットワーク

太陽光発電によるクリーンな電気の産直「県民共同発電所」運動

NHK大分放送局長賞

日田市

日田市学校版環境ISO認定制度

提案部門

大分県地球温暖化防止活動推進センター長賞

玖珠町立八幡小学校

〔環境：はじめの一歩（自分たちにできること）運動〕

シティ情報おおいた賞

大分市（清掃管理課）

ごみ減量預金事業

全国大会「環境都市賞」受賞！

大分県地球温暖化防止活動推進センター
NPO法人地域環境ネットワーク

日田に環境都市賞

ストップ温暖化「一村一品」大作戦

CO₂の削減量「日本一」



【東京支社】全国環境
温暖化防止活動推進セン
ター（東京）が主催する
「ストップ温暖化『一
品』大作戦・全国大会
2008」が九、十の両
日、東京・千代田区内で
開かれ、県代表の日田市
が特別賞「環境都市賞」
を受賞した。

全国各地から地球温暖
化防止を目指す七十件
の事例が寄せられた。大
会には、各都道府県大会
で選ばれた自治体や企
業、大学、NPO法人な
どが出席。リサイクル、
公共交通機関の有効活
用、環境劇といった事例
を出し合った。

日田市は「環境都市日
本一になるぞ」と題して、
市環境課企画推進係の戸
田智子専門員が取り組み
を発表した。市の全世
帯、全事業所から排出さ
れる生ごみを分別。燃料
化して取り組むバイオマ
ス発電や、市独自の学校
版環境ISO認定制度な
どを紹介した。

表彰を受けた橋爪建一
市民環境部長は講評で、
CO₂の削
減量は日
本一とい
う評価も
得た。日
本一の環
境都市を
目指して
さらに活
動を広げ
ていま
す」と話
した。

日田市の取り組みを発表した市
環境課企画推進係の戸田専門員



9

